

自動車事故の

被害に遭われた方へ

独立行政法人自動車事故対策機構は、自動車事故による被害者に次の援護業務を行っています。

〔交通遺児等育成資金の無利子貸付〕

対象者 〓 自動車事故により死亡または重度の後遺障害が残った人の子ども（0歳から中学3年生）で、その保護者が住民税を納めることを要しないなど一定の要件に合致する人

貸付金額 〓 一時金155,000円、月額20,000円、入学支度金44,000円

貸付期間 〓 貸付決定の月から中学校を卒業する月まで

利子 〓 無利子 返還方法 〓 貸付終了後、20年以内の均等分割返還。ただし、高校・大学などに進学した場合は在学期間は返還を猶予

〔重度後遺障害者に対する介護料の支給〕

対象者 〓 自動車事故により、脳、脊髄または胸腹部臓器に損傷を生じた人で、一定の要件に合致する人

介護料の額 〓 月額29,290円〜136,880円 ※ 受給資格ごとに介護に要した費用などに応じて支給。

また、「短期入院」についても助成

〔問合せ先〕

長崎市五島町1-21 独立行政法人自動車事故対策機構長崎支所

☎ 095・821・8853

苗木の無料配布

電源開発(株)と九州電力(株)は、環境中間行事の一環として、苗木の街頭配布をします。

数量に限りがありますので、早めにお越しください。

日時 〓 6月9日(火) 午前11時〜(雨天順延) 場所 〓 松浦中央公園

問合せ先 〓 九州電力(株)技術グループ ☎ 0956・72・1241

平成21年度消防設備士試験

試験の種類 〓 甲種(特類・第1〜5類) および乙種(第1〜7類) 試験

の日時 〓 8月23日(日) 午前10時から 試験の場所 〓 佐世保工業高等学校(ほか県内4カ所) 受験願書の受付期間 〓 6月24日(水)〜7月8日(水)

(水) (郵送の場合は、7月8日の消印まで有効) 受験願書用紙の入手先

〓 (財) 消防試験研究センター 長崎県支部、長崎県消防保安室、長崎県各振興局・地方局、県内各消防署

受験手数料 〓 甲種5,000円 乙種3,400円 受験願書の提出先

問合せ先 〓 (財) 消防試験研究センター 長崎県支部 ☎ 850・0033

長崎市万才町6-38 明治安田生命

長崎ビル1階 ☎ 095・822・5999

FAX 095・822・4655

市民の伝言板

音訳ボランティア募集

「松浦音訳の会」では、一緒に市報まつうらなどの音訳活動にご協力いただける人を募集しています。

経験は問いません。音訳に興味のある人、本を読むことが好きな人は、まずご連絡ください。

問合せ先 〓 社会福祉協議会 ☎ 0956・72・0788

第26回松浦市陸上選手権大会

- 日時 7月19日(日) (雨天時は中止)
開会=午前9時30分〜、競技開始=午前10時〜
- 場所 市民運動公園
- 参加区分および資格
 - 一般 (市内および北松地区内居住者または勤務者)
 - 高校 (市内および北松地区内の高校および市内出身高校生)
 - 中学 (市内および北松地区内の中学生)
 - 小学 (市内および北松地区内の小学3〜6年生)
- 種目
 - 小学校 (100[㉿]、1000[㉿]、走幅跳)
 - 中学校 (100[㉿]、200[㉿]、1500[㉿]、3000[㉿]、走幅跳)
 - リレー (小学校、中学校)
 - 高校 (100[㉿]、200[㉿]、400[㉿]、800[㉿]、1500[㉿]、3000[㉿])
 - 一般 (100[㉿]、400[㉿]、800[㉿]、1500[㉿]、3000[㉿])
- 参加料
 - 【1種目出場】 市内の人…200円・市外の人…300円
 - 【2種目出場】 市内の人…400円・市外の人…600円
 - 【リレー(1チーム)】 市内のチーム…500円・市外のチーム…800円 (別途保険料1人100円が必要)
- 申込期限 6月26日(金) 午後5時必着
※一般のみ当日まで受付可
- 主催 松浦市陸上競技協会
- 問合せ先 松浦市陸上競技協会事務局
浦辺 ☎ 090-2589-5871 福田 ☎ 090-1082-6292

▶「松浦音訳の会」の皆さん



とき

vol.41

交通船を46年間運航 金井田さんに感謝状

ひさき
金井田久喜さん
(鷹島・石川、76)



金井田さんが運航していた黒島交通船



鷹島の金井田久喜さんに4月23日、市から感謝状が贈られました。

金井田さんは黒島交通船の船長として、鷹島町黒島と阿翁浦間の航路を昭和38年から46年間運行。3月31日をもって運航を交替されたことから、これまで地域住民の海上交通の確保に多大な貢献をされたとして、感謝状が贈られたものです。

友広市長は「昭和40年代ごろは、年間のべ6万5千人もの人が利用していたと聞いています。その後、黒島地区住民の減少に伴い、現在では約千人程度が利用しています。金井田さんにおかれましては、黒島地区の皆さんの重要な交通手段でもある交通船の船長として、永年にわたりご尽力いただき、ありがとうございます」と話しました。

金井田さんは「黒島の中学生が鷹島の生徒たちに負けないよう、台風以外は少々雨風が強くても欠航せずに運航することには数々の苦労がありました。児童・生徒・地区住民の海上交通の足として、黒島と鷹島を結ぶ航路を46年間無事故・無休で運航できたことをうれしく思います。この度、これまでの46年間をねぎらって感謝状をいただきありがたく思います。無休で運航してきたため、子ども・孫・ひ孫と過ごす時間がなかったので、これからは家族と過ごす時間を大切にしていきたいですね」と話しました。

なお、4月1日からは金井田正己まさみちさん(鷹島・黒島、75)がこの航路の船長として交通船を運航されています。